

地域のつながり！ 減量のたのしさ!!

= きしわだ = 推進員だより

「推進員だより」は岸和田市廃棄物減量等推進員の活動や市の施策を紹介します。

平成 24 年 (2012 年)

第 13 号

(3 月発行)

編集と発行

岸和田市生活環境課

電話 072 (423) 9465



岸和田市廃棄物減量等推進員視察研修会

平成 24 年 3 月 8 日 (木) に、岸和田市廃棄物減量等推進員リサイクル関連施設視察研修会を実施したところ 50 名の参加がありました。

最初に訪問したのは、和歌山県和歌山市にあります資源リサイクルセンター (株) 松田商店で、ペットボトル、スチール缶、アルミ缶、空き瓶をリサイクルしています。特に、ペットボトルは、自社でエコ商品として製造・販売しています。次に向かったのは、大阪府泉南市にあります (株) リバースです。ここでは、「100% 古紙を原料としたトイレトペーパーの製造」や「機密書類リサイクルシステム」等に取り組んでおり、推進員の皆さんも熱心に聞いておられました。

(裏面に続く)



資源リサイクルセンター（株）松田商店

3月8日(木)午前9時半に出発して、バスに揺られること1時間、「資源リサイクルセンター（株）松田商店」に到着しました。

（株）松田商店では、「ペットボトルリサイクル」「金属リサイクル」「産業廃棄物処理」等を通して様々な環境問題に取り組んでいます。

同社は、体験型工場見学システム「くるくるシティ」というテーマパーク化したリサイクル施設となっています。そのため、だれでも、わかりやすく楽しく工場見学ができるようになっています。



（株）リバース

リバースでは、セキュリティとリサイクルを両立した製造・処理施設があります。

セキュリティ面としての「機密書類リサイクルシステム」では、密封している段ボールをそのまま溶解処理ができます。

また、リサイクル面としての「100%古紙を原料としたトイレットペーパーの製造」では、紙・シュレッダー屑・金具等の前選別が不要で、コストダウンにもつながっています。さらに、製造過程で出た「紙汚泥」「廃プラ」は、もう一度熱源として利用するなど、廃棄物ゼロを目指した取り組みをしていました。

視察研修 終了

午後4時30分頃に視察研修を終え無事帰ってきました！

今回の研修を通して得たことを、それぞれの地域の皆さまにお伝えください。

私も施設見学行ってまいりました

減量推進担当の松野でございます。平成 24 年 2 月 10 日(金)に、大阪府再生資源事業推進協議会主催の施設見学会に参加しました。

見学先は、京都府にある安田産業グループの各工場を訪れました。安田産業グループでは、主に、コンビニ・商店・工場・建設現場等から排出される産業廃棄物を回収・リサイクルしています。

各工場では、空き缶はまた新しい缶に、ペットボトルは生活雑貨に、ダンボールは圧縮・梱包され、木くず・紙くずは固形燃料に、食品は肥料に、レアメタルは銅線・パソコン等を選別・分解し、廃材の良材は、家具へとそれぞれ再生・リサイクルされていました。

この施設見学会に参加して、分別の必要性を再認識いたしました。また、市民一人ひとりが納得して、正しい分別をするためには、「どのようにリサイクルされているか」「どうしてこのように分けるのか」という情報が必要です。機会があるごとに、推進員だよりで推進員のみなさまに情報を発信していきたいと思っています。



『リユース品 無償譲渡会』を行いました

平成 24 年 2 月 22 日(水)・23 日(木)の 2 日間、環境事務所内で、リユース品の無償譲渡会を行い、小型家具やベビー用品、小物など 120 点を展示し、293 名の方々に来場いただきました。

また 24 日(金)には、岸和田市消費生活研究会の方々のご協力により、応募のあった 95 点の公開抽選を行い、市民の方々に譲渡しました。



ごみの行方～出されたごみは何処へ～

ごみの行方シリーズも4回目になりました。今回は、パソコンの処理についてお話をさせていただきます。

これからの循環型社会のために、最近ますます家庭で利用する人が増えてきているパソコンも、資源のとぼしいわが国においては、きちんとしたリサイクル・再資源化をして、地球の資源および地球の環境を守っていかねばなりません。

そこで、平成15年10月より「資源有効利用促進法」に基づいて、家庭用のパソコンを再資源化するパソコンリサイクルが始まりました。

使用済パソコンはこれまで、自治体が回収・処理していましたが、廃棄されるパソコンをメーカーが回収し、部品や材料をより有効に再資源化するようになりました。 下記参照

明日の地球を守るため、ご協力よろしく申し上げます！

記

主な対象機器

デスクトップパソコン、ディスプレイ一体型パソコン、ノートパソコン、液晶・ブラウン管ディスプレイ、購入時の標準付属品(キーボード、マウス、スピーカー、ケーブル等でパソコンと同時に排出するもの)

廃棄の方法

製造メーカーへ申し込みの連絡をする。

製造メーカーから振込用紙が送付される。 リサイクルマークありは、不要
リサイクル料金(回収再資源化料金)を支払う。 リサイクルマークありは、不要
製造メーカーから「エコゆうパック伝票」が送付される。

パソコンを簡易梱包・伝票を貼付し、最寄の郵便局へ。

回収再資源化料金表

対象品	PCリサイクル マークあり	PCリサイクル マークなし	回収メーカーが ないパソコン
デスクトップ パソコン	無償	各 3,150 円(税込)	各 4,200 円(税込)
ノートパソコン	無償	各 3,150 円(税込)	各 4,200 円(税込)
ブラウン管 ディスプレイ	無償	各 4,200 円(税込)	各 5,250 円(税込)
液晶ディスプレイ	無償	各 3,150 円(税込)	各 4,200 円(税込)

詳しくは、「一般社団法人パソコン3R推進協会」へ 電話 03-5282-7685